



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場会社名 太平洋セメント株式会社
 コード番号 5233
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東・福

URL <https://www.taiheiyo-cement.co.jp/>

(氏名) 不死原 正文

(氏名) 高野 謙一

(TEL) 03 - 5801 - 0334

配当支払開始予定日

—

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	193,534	9.6	1,862	54.1	2,976	36.2	365	—
2023年3月期第1四半期	176,516	10.6	1,208	△87.8	2,185	△79.1	△220	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 5,717百万円(△56.8%) 2023年3月期第1四半期 13,225百万円(△29.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 3.12	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	△1.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,280,007	530,137	38.7
2023年3月期	1,268,862	528,857	39.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 495,993百万円 2023年3月期 494,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	444,000	18.1	19,000	—	17,000	—	11,000	—	93.97
通期	920,000	13.6	58,000	1,201.5	56,000	5,412.6	40,000	—	341.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	121,985,078株	2023年3月期	121,985,078株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	4,868,972株	2023年3月期	4,931,863株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	117,084,616株	2023年3月期1Q	117,053,809株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経済情勢、市場需要、原燃料価格、為替レート等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が2023年5月より5類に引き下げられ、社会活動への制約が解消される中、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調を維持しました。しかしながら、長引くウクライナ情勢や円安の影響による燃料価格や原材料価格の高騰により、先行きは不透明な状況が続いております。

また、世界経済については、米国では持ち直しの動きがありますが、一部地域においては弱さがみられることに加え、先行きについても世界的な金融引き締めや物価上昇による下振れリスクがあるなど、不確実性の高い状況にあります。

このような状況の中で、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,935億3千4百万円（対前年同期170億1千8百万円増）、営業利益は18億6千2百万円（同6億5千3百万円増）、経常利益は29億7千6百万円（同7億9千万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億6千5百万円（前年同期は2億2千万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。各金額については、セグメント間取引の相殺消去前の数値によっております。

① セメント

セメントの国内需要は、民需では都市部再開発工事や高速道路工事及び物流関連施設新增設等、一定の需要が認められる一方、全般的に労務費・資材費等の建設コスト上昇によるセメント原単位の減少や、建設業・運送業の働き方改革、および建設技能労働者不足による工程遅延で出荷低調に推移した結果、全体では857万トンと前年に比べ6.5%減少しました。なお、輸入品はありませんでした。また、総輸出数量は150万トンと前年同期に比べ42.7%減少しました。

このような情勢の下、当社グループにおけるセメントの国内販売数量は、受託販売分を含め319万トンと前年同期に比べ0.9%減少しました。輸出数量は61万トンと前年同期に比べ24.0%減少しました。

米国西海岸のセメント事業は、記録的な豪雨・豪雪の影響により、販売数量は前年同期を下回りました。ベトナムのセメント事業は、南部地区の民間需要が低調なものの、輸出及びクリンカ販売により、販売数量は前年同期並みとなりました。フィリピンのセメント事業は、設備修繕による生産能力回復により、販売数量は前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は1,355億2千1百万円（対前年同期165億5千1百万円増）、営業損失は24億8千9百万円（前年同期は19億6千1百万円の営業損失）となりました。

② 資源

骨材事業は関東・東北地区では販売数量が減少しましたが、関西・北海道地区では販売が堅調に推移しました。鉱産品事業は海外鉄鋼向け石灰石の販売数量が減少しました。土壌ソリューション事業は固化不溶化材数量が前年同期を下回りました。また事業全体において、各種コストアップ分の販売価格への転嫁が浸透しました。

以上の結果、売上高は216億6百万円（対前年同期16億7千5百万円増）、営業利益は19億9千3百万円（同5億4千4百万円増）となりました。

③ 環境事業

汚泥をはじめとする廃棄物処理は堅調に推移したものの、燃料販売や石炭灰処理は伸び悩みました。また、バイオマス燃料は国際的な為替変動の影響を受けました。

以上の結果、売上高は152億2千5百万円（対前年同期23億9千2百万円減）、営業利益は12億6百万円（同1億4千6百万円減）となりました。

④ 建材・建築土木

地盤改良工事の好調に加え、ALC（軽量気泡コンクリート）と建築材料の販売価格の適正化に努めた結果、売上高は161億3千8百万円（対前年同期25億6千2百万円増）、営業利益は5億6千6百万円（前年同期は4億1千2百万円の営業損失）となりました。

⑤ その他

売上高は201億4千4百万円（対前年同期1億1千1百万円減）、営業利益は7億3千5百万円（同1億7千7百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は前連結会計年度末に比べ111億4千5百万円増加して1兆2,800億7百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ13億5千8百万円増加して4,317億6千6百万円、固定資産は同97億8千6百万円増加して8,482億4千万円となりました。流動資産増加の主な要因は商品及び製品が増加したことによるものであります。固定資産増加の主な要因は建設仮勘定などその他の有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ98億6千4百万円増加して7,498億6千9百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ117億7千4百万円増加して3,975億5千8百万円、固定負債は同19億1千万円減少して3,523億1千万円となりました。流動負債増加の主な要因は営業外電子記録債務などその他の流動負債が増加したことによるものであります。固定負債減少の主な要因は長期借入金が減少したことによるものであります。有利子負債（短期借入金、コマーシャル・ペーパー、1年内償還予定の社債、社債、長期借入金の合計額）は、前連結会計年度末に比べ29億9千万円増加して4,064億7千6百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ12億8千万円増加して5,301億3千7百万円となりました。主な要因は為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では2023年5月11日に公表しました連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,842	78,892
受取手形、売掛金及び契約資産	158,136	159,109
電子記録債権	24,826	27,318
商品及び製品	47,460	51,179
仕掛品	1,529	2,119
原材料及び貯蔵品	89,383	84,134
その他	29,379	29,163
貸倒引当金	△150	△150
流動資産合計	430,408	431,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	157,312	160,034
機械装置及び運搬具（純額）	191,081	189,020
土地	165,027	167,714
その他（純額）	106,662	109,981
有形固定資産合計	620,083	626,750
無形固定資産		
のれん	101	96
その他	39,665	39,658
無形固定資産合計	39,766	39,755
投資その他の資産		
投資有価証券	117,839	118,614
退職給付に係る資産	23,697	23,656
その他	38,376	40,770
貸倒引当金	△1,309	△1,306
投資その他の資産合計	178,604	181,734
固定資産合計	838,454	848,240
資産合計	1,268,862	1,280,007

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	84,162	84,371
電子記録債務	11,613	13,132
短期借入金	149,573	151,693
コマーシャル・ペーパー	27,000	31,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	3,687	2,907
賞与引当金	5,677	4,654
事業撤退損失引当金	2,564	1,350
その他の引当金	108	159
その他	91,395	98,289
流動負債合計	385,784	397,558
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	166,911	163,783
退職給付に係る負債	21,380	21,531
役員退職慰労引当金	536	464
特別修繕引当金	227	246
製品補償引当金	4,498	4,479
事業撤退損失引当金	1,924	1,936
その他の引当金	472	471
資産除去債務	9,379	10,266
その他	98,889	99,131
固定負債合計	354,221	352,310
負債合計	740,005	749,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,174	86,174
資本剰余金	49,729	49,800
利益剰余金	342,880	339,142
自己株式	△13,738	△13,735
株主資本合計	465,045	461,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,038	13,054
繰延ヘッジ損益	0	1
土地再評価差額金	3,610	3,611
為替換算調整勘定	13,730	17,544
退職給付に係る調整累計額	530	398
その他の包括利益累計額合計	29,911	34,610
非支配株主持分	33,899	34,144
純資産合計	528,857	530,137
負債純資産合計	1,268,862	1,280,007

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	176,516	193,534
売上原価	141,596	158,089
売上総利益	34,919	35,444
販売費及び一般管理費	33,710	33,582
営業利益	1,208	1,862
営業外収益		
受取利息	56	289
受取配当金	831	1,120
持分法による投資利益	286	250
為替差益	181	801
その他	699	645
営業外収益合計	2,056	3,107
営業外費用		
支払利息	535	881
その他	544	1,113
営業外費用合計	1,079	1,994
経常利益	2,185	2,976
特別利益		
固定資産処分益	210	88
投資有価証券売却益	30	3
その他	22	22
特別利益合計	263	114
特別損失		
固定資産処分損	607	781
その他	19	40
特別損失合計	627	822
税金等調整前四半期純利益	1,821	2,268
法人税等	1,758	1,709
四半期純利益	63	558
非支配株主に帰属する四半期純利益	283	192
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△220	365

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	63	558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,177	1,139
繰延ヘッジ損益	3	0
為替換算調整勘定	12,900	2,746
退職給付に係る調整額	△231	△120
持分法適用会社に対する持分相当額	1,666	1,393
その他の包括利益合計	13,161	5,159
四半期包括利益	13,225	5,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,736	5,063
非支配株主に係る四半期包括利益	1,489	654

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	セメント	資源	環境事業	建材・ 建築土木	計				
売上高									
外部顧客への売上高	117,450	14,984	16,428	13,238	162,101	14,414	176,516	—	176,516
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,519	4,945	1,189	338	7,993	5,841	13,835	△13,835	—
計	118,969	19,930	17,618	13,576	170,095	20,256	190,351	△13,835	176,516
セグメント利益又は損失 (△)	△1,961	1,449	1,352	△412	428	558	986	222	1,208

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、化学製品事業、スポーツ事業、電力供給事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	セメント	資源	環境事業	建材・ 建築土木	計				
売上高									
外部顧客への売上高	133,573	15,866	14,137	15,770	179,347	14,187	193,534	—	193,534
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,948	5,739	1,088	367	9,144	5,957	15,101	△15,101	—
計	135,521	21,606	15,225	16,138	188,491	20,144	208,636	△15,101	193,534
セグメント利益又は損失 (△)	△2,489	1,993	1,206	566	1,277	735	2,012	△150	1,862

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、化学製品事業、スポーツ事業、電力供給事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。